

平成 29 年 7 月中間期 (平成 29 年 1 月 21 日～平成 29 年 7 月 20 日)  
 中間決算短信

平成 29 年 9 月 1 日

ファンド名 純プラチナ上場信託 (現物国内保管型) 上場取引所 東証  
 コード番号 1541  
 連動対象指標 東京商品取引所におけるプラチナ1グラムあたりの先物価格を、一定の貴金属業者の提示する  
 フォワードレートで現在価値に引き直した価格に基づくプラチナ地金の標準純度質量1  
 グラムあたりの価格  
 主要投資資産 プラチナ地金  
 売買単位 1口  
 発行会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 URL <http://kikinzoku.tr.mufg.jp/>  
 代表者名 取締役社長 池谷 幹男  
 問合せ先責任者 証券代行部 日野 真 TEL (03)3287-9548

半期報告書提出予定日 平成 29 年 10 月 17 日

I ファンドの運用状況

1. 平成 29 年 7 月中間期の運用状況 (平成 29 年 1 月 21 日～平成 29 年 7 月 20 日)

(1) 資産内訳

(千円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
29 年 7 月中間期	12,331,113	(100.0)	△4,736	(△0.0)	12,326,377	(100.0)
29 年 1 月期	12,351,647	(100.0)	△5,579	(△0.0)	12,346,067	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
29 年 7 月中間期	3,469,578 口	727,751 口	689,600 口	3,507,729 口

(3) 純資産

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり純資産 (③/当中間計算期間末発行済口数)
	千円	千円	千円	円
29 年 7 月中間期	12,341,834	15,456	12,326,377	3,514.06
29 年 1 月期	12,480,185	134,118	12,346,067	3,588.38

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間末 平成29年1月20日	当中間計算期間末 平成29年7月20日
資産の部			
流動資産			
未収消費税等		128,538	10,720
未収収益		-	0
流動資産合計		128,538	10,720
固定資産			
投資その他の資産(※1)		12,351,647	12,331,113
固定資産合計		12,351,647	12,331,113
資産合計		12,480,185	12,341,834
負債の部			
流動負債			
未払金		6,024	5,115
仮受金		128,094	10,341
流動負債合計		134,118	15,456
負債合計		134,118	15,456
純資産の部			
元本等			
元本(※2,3)		12,466,870	12,456,424
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金(※3)		△120,803	△130,046
利益剰余金合計		△120,803	△130,046
元本等合計		12,346,067	12,326,377
純資産合計		12,346,067	12,326,377
負債純資産合計		12,480,185	12,341,834

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間計算期間		当中間計算期間	
		自 平成28年1月21日 至 平成28年7月20日		自 平成29年1月21日 至 平成29年7月20日	
営業費用					
受託者報酬			24,880		27,924
その他費用			1,691		1,690
その他の事業費用(※1)			3,187		2,330
営業費用合計			29,759		31,946
営業損失(△)			△29,759		△31,946
営業外収益					
受取利息			-		0
営業外収益合計			-		0
経常損失(△)			△29,759		△31,946
税引前中間純損失(△)			△29,759		△31,946
中間純損失(△)			△29,759		△31,946

（3） 中間注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 投資その他の資産の評価基準及び評価方法	移動平均法による原価法により評価を行っております。
2 その他	本信託における消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

前計算期間末（平成29年1月20日）

- ※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。  
 ※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。  
 ※3 元本及び利益剰余金の変動  
 当計算期間（自 平成28年1月21日 至 平成29年1月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	11,002,845	△70,564	△70,564	10,932,281	10,932,218
当期変動額					
設定	2,818,151	—	—	2,818,151	2,818,151
転換	△1,354,126	12,010	12,010	△1,342,115	△1,342,115
当期純損失(△)	—	△62,249	△62,249	△62,249	△62,249
当期変動額 合計	1,464,024	△50,238	△50,238	1,413,785	1,413,785
当期末残高	12,466,870	△120,803	△120,803	12,346,067	12,346,067

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成29年7月中間期中間決算短信

当中間計算期間末（平成29年7月20日）

※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。

※2 元本は、「中間財務諸表等規則」第33条に定める資本金であります。

※3 元本及び利益剰余金の変動

当中間計算期間（自平成29年1月21日 至 平成29年7月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計	
	元本	利益剰余金				利益剰余金 合計
		その他利益剰余金	繰越利益剰余金			
当期首残高	12,466,870	△ 120,803	△ 120,803	12,346,067	12,346,067	
当中間期変動額						
設定	2,454,491	—	—	2,454,491	2,454,491	
転換	△ 2,464,938	22,703	22,703	△ 2,442,235	△ 2,442,235	
中間純損失(△)	—	△ 31,946	△ 31,946	△ 31,946	△ 31,946	
当中間期変動額 合計	△10,466	△ 9,243	△ 9,243	△ 19,689	△ 19,689	
当中間期末残高	12,456,424	△ 130,046	△ 130,046	12,326,377	12,326,377	

（中間損益計算書に関する注記）

前中間計算期間	当中間計算期間
自平成28年1月21日 至 平成28年7月20日	自平成29年1月21日 至 平成29年7月20日
※1 その他の事業費用とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による損失であります。	同左

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成29年7月中間期中間決算短信

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の時価等に関する事項

（1）中間貸借対照表計上額の時価との差額

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

（単位：千円）

	前計算期間末 (平成29年1月20日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
①未収消費税等	128,538	128,538	—
②未収収益	—	—	—
資産計	128,538	128,538	—
③仮受金	128,094	128,094	—
負債計	128,094	128,094	—

（単位：千円）

	当中間計算期間末 (平成29年7月20日)		
	中間貸借対照表計上額	時価	差額
①未収消費税等	10,720	10,720	—
②未収収益	0	0	—
資産計	10,720	10,720	—
③仮受金	10,341	10,341	—
負債計	10,341	10,341	—

（2）時価の算定方法

前計算期間末 (平成29年1月20日)	当中間計算期間末 (平成29年7月20日)
①未収消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	①未収消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
②未収収益 該当事項はございません。	②未収収益 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
③仮受金 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	③仮受金 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。

（1口当たり情報に関する注記）

（単位：円）

前計算期間末 (平成29年1月20日)	当中間計算期間末 (平成29年7月20日)
1口当たり純資産額 3,558.38	1口当たり純資産額 3,514.06

（単位：円）

前中間計算期間 自 平成28年1月21日 至 平成28年7月20日	当中間計算期間 自 平成29年1月21日 至 平成29年7月20日

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成 29 年 7 月中間期中間決算短信

1 口当たり中間純損失（△）	△9.98	1 口当たり中間純損失（△）	△9.41
----------------	-------	----------------	-------

（重要な後発事象に関する注記）

当ファンドは、信託約款第 46 条 10 項の規定に基づき、平成 29 年 8 月 9 日付けで委託者からの申し出による転換を 147,456 口行っております。これにより、同日付で元本が 523,636 千円減少しております。